

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、住宅・建築物の脱炭素化をさらに推進するとともに、国際的な潮流に対応するためライフサイクルカーボン評価（LCCO2評価）を行い、ライフサイクルカーボン削減に資する先導的な事業等への支援を行う。

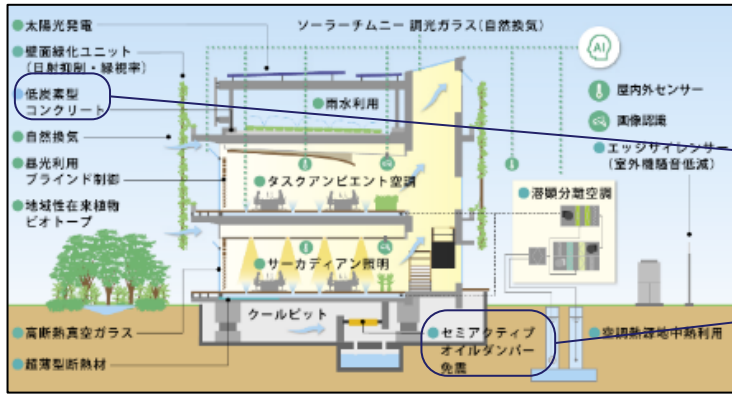
ライフサイクルカーボン削減に向けて先導性の高い住宅・建築物のプロジェクトについて民間等から提案を募り、支援を行う



事業の成果等を広く公表することで、取組の広がりや社会全体の意識啓発に寄与することを期待

### 先導技術の一例

#### ■ 建築物



■ 建設時における省CO2効果がある技術

■ 建物を長寿命化させる取組

#### ■ 住宅



■ 高断熱による外皮負荷削減とエネルギー消費量のミニマム化

■ 水素吸蔵合金を利用した季節間のエネルギー融通システム

■ EV・V2Hによる電力融通

■ 街区の緑化、周辺地域の避難場所提供

### 「先進性」と「普及・波及性」を兼ね備えたプロジェクトを先導的と評価

- ・学識経験者から構成される評価委員会において評価し、採択を決定
- ・「ライフサイクルカーボンを削減する取組」等に資するプロジェクト等を積極的に評価

- <補助対象> 設計費、建設工事費等のうち、先導的と評価された部分
- <補助率> 1/2 等
- <限度額> 原則3億円/プロジェクト  
新築の建築物又は共同住宅について建設工事費の5% 等

- <要件> ・CO2削減等に寄与する先導的な技術を導入し、その導入の効果等について検証を行うこと
- ・新築の場合、ZEH・ZEB水準に適合すること
- ・**大規模建築物(2,000㎡以上)の新築・増改築・改修の場合、LCCO2評価を実施すること(評価結果は国に報告)** 等

※下線部は見直し事項